# 【理科編】

### 1 家庭学習でできること

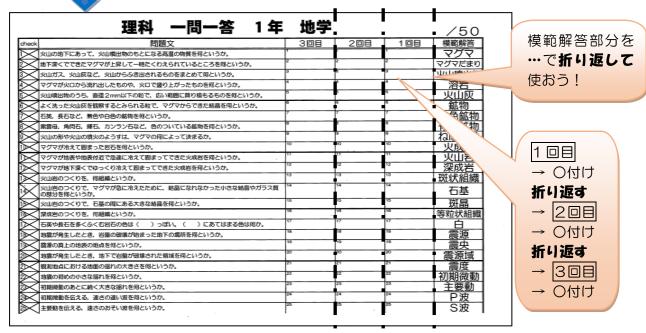
教科書の P4~を見て、[探究の流れの例]を知っておこう!

#### 予習のしかた

学習の基本は「教科書」です!!! 教科書やワークを中心に学習を進めましょう。

- ① 教科書の最初に載っている (ア) の内容を確認する(その章の学習課題です)。
- ② 「課題」に対する「答え」を見つけ出すように、教科書をじっくり読み込みます。
- ③ 学習内容を理解するためには、理科の"用語"を知る必要があります。

\_下の図のプリントに一生懸命取り組み、用語の理解を進めましょう。



- ☆ 学校での授業につながるように、用語知識の定着を目指しましょう!3回やれば変わるはず!!
- ☆ 「一問一答」プリントに出てきた用語を、教科書で探し、ラインマーカーを引くのもおすすめ!
- ④ **ワークに取り組み問題を解きましょう**。理解できているかの確認を。**用語が大丈夫!** になった子は、ワーク等をうまく活用し「計算問題」や「文章問題」等の発展的な学習にも挑戦してみてね。

# 2 ポイント

☆ 理科の重要語句(教科書の太字、一問一答の答え)は確実に知っておこう。

「初期微動継続時間」という単語だけを知っていても使えません。「初期微動継続時間って何?」と聞かれたら答えられるようにすると GOOD!用語の定着のためには、繰り返しの学習が必要です。

☆ 実験や観察の方法・注意点をまとめてみよう。

教科書にある実験や観察のやり方を、自分なりにまとめてみると理解が深まります。休校明けの授業でスムーズに実験や観察を行うための準備として取り組んでみよう♪

## 3 休校中だからこそできること

NHK for school (<a href="https://www.nhk.or.jp/school/">https://www.nhk.or.jp/school/</a>) で「10min 理科」と検索し、自分の学習単元の動画を視聴すると、わかりやすいと思います。ぜひ、活用してください!

休校明けの授業で、単語テストを行います!みんなの頑張りを見せてください!